

新庁舎基本設計まとめまる

設計まとめまる

①



南側から見下ろしたイメージ

庁舎建設については、平成20年に庁舎建設に係る基本構想、翌21年は基本計画・配置計画を策定し、広報はちまんたいでお知らせしてきました。今回、庁舎の配置や機能などの基本設計がまとまったので、今月号と来月号の2回にわたり紹介します。今回は、1階から3階までの平面図（次ページ図）をもとに、各階の機能などについてお知らせします。詳しくは、市企画総務部庁舎建設対策室（☎・内線1412）まで。

市民や環境に優しい庁舎を目指して

基本設計は、市庁舎建設検討委員会（古澤眞作委員長）、同庁内検討委員会で検討を重ね、庁舎に必要な機能のほか、市民の皆さんが利用しやすい環境の充実に目指しています。誰でも使いやすいデザインに配慮した人に優しい庁舎、明るく開放感があり、地中熱などのクリーンエネルギーを活用した環境に優しい庁舎として設計しています。

1階は明るく開放感のある空間に

1階は、各種証明書発行などの窓口部門を配置。相

談室を設け、相談対応の充実に図ります。窓口前のロビーは広くし、2階への吹き抜けを設け、開放感のある空間とします。ロビー側の外観はガラス張りです。採光に配慮した明るい庁舎を演出します。

また、東西に横長い庁舎



1階窓口前のロビー（イメージ）

であることから、玄関を2カ所設けるほか、多目的ホールや駅の待合機能としての「結のひろば」を庁舎に併設しています。

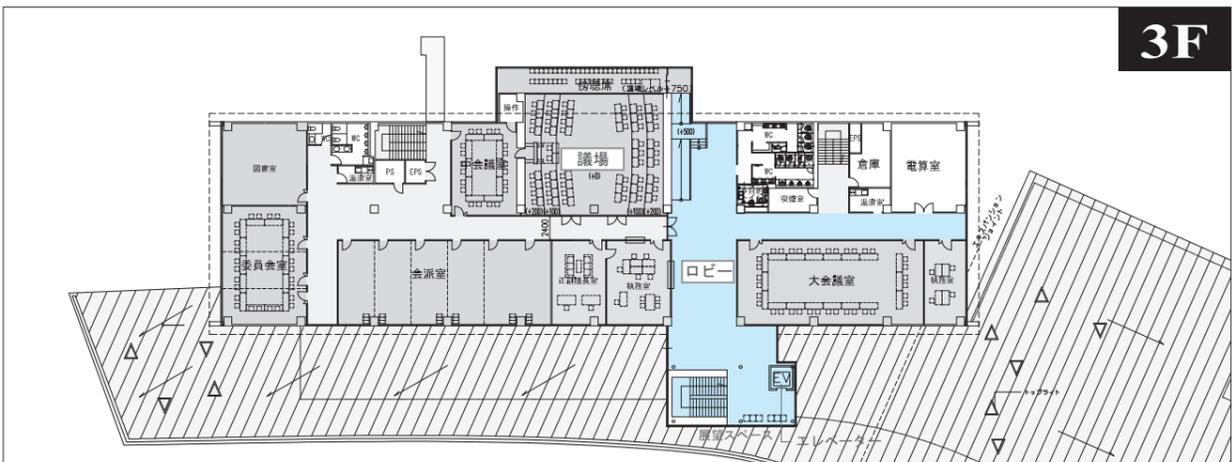
2・3階は岩手山展望スペースを配置

2階は執務機能を充実させています。階段・エレベーターの近くに、市長室などを設け来客などの利便性向上を図ります。

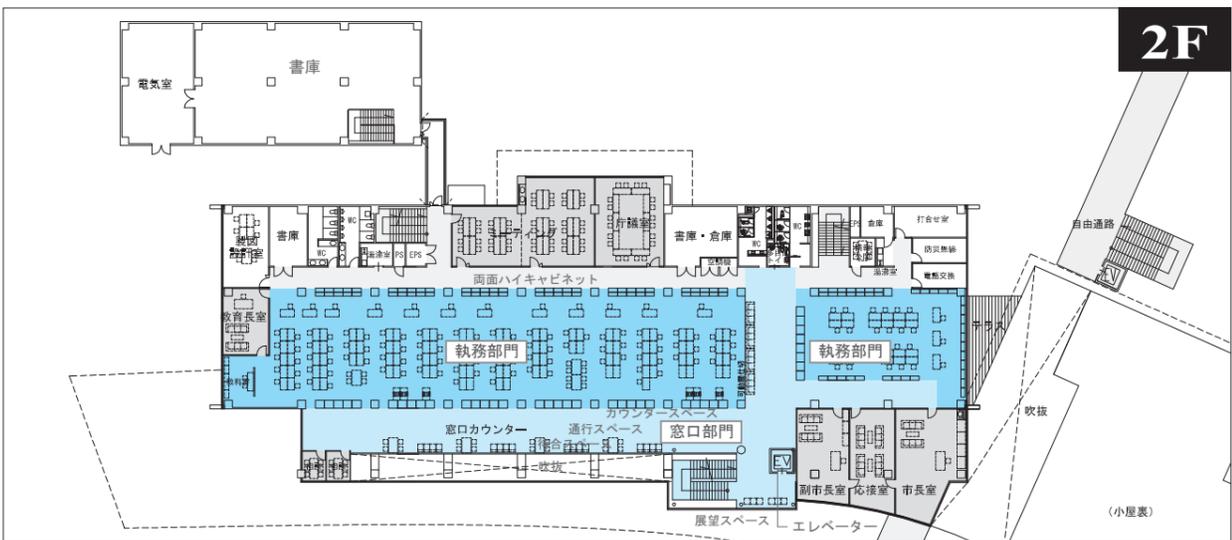
3階は主に議会議事堂。議場は、傍聴席の位置を議員席・市当局席の側面に配置し、議論全体を見渡す配置としています。

また、エレベーター前には、岩手山を望む展望スペースを配置しています。

3F



2F



1F

